

おしえて 満田先生

高知大学医学部 小児科医
満田 直美 先生



夏に多い疾患「水いぼ」について

水いぼは伝染性軟属腫ウィルスに感染することによって起こる皮膚疾患です。幼児期に多い疾患ですが、大人にもうつることがあります。

かゆみを伴うこともありますが、痛みや発熱などといった体に負担のかかる症状はありません。

水いぼは**肌と肌の接触で感染**します。タオルの共用など物を介しても感染しますが、プールやお風呂など水を介して感染することはありません。幼・保育園などでプールを控えるように言われることがありますが、タオルやビート板などの共用を控えれば物を介しての感染は防げます。



治療は小児科か皮膚科でおこないます。治療法はピンセットで水疱をつまんで取り除くのが一般的で、これは痛みを伴います。麻酔テープを使う方法もありますが、それでも多少の痛みは伴います。そのほか硝酸銀で焼く、漢方薬などの治療も試みられていますが確実なものはありません。放っておいても治るので放置してもよいと考えられています。ただし、治るのには数か月から半年ほどかかります。アトピー性皮膚炎のお子さんなど皮膚のバリア機能が弱いおさんは、かゆくて搔いてしまうと、水いぼが増えることがあります。**スキンケアをしっかりと、皮膚の健康を保つ**ということが水いぼを増やさないためには大事です。

